



東近江市民クラブ
地元農産品を市場に



進めています。

Q 地元農家が八日市公設地方卸売市場に参入し地元農産品を流通させる仕組みがでないものか。それには今、計画中の地域商社、東近江プライマリーCo.が担うことが可能であるのか。

A プライマリーCo.の役割は、業務加工用野菜の取り組みを進化させること、契約栽培された新鮮な野菜を買い取り、市内や県内の大型スーパーで販売する中規模流通の仕組みを構築することの二本柱で事業を展開していくことと考えています。

さらに、この取り組みにより地元産野菜の量が増え、新たな流通機構が確立され、消費者に短い経路で新鮮な野菜が届けられる効果的な取り組みになると考えています。



Q 三重県南伊勢町との物産の交易が市場の活性化につながるのでは。

A 南伊勢町の海産物は三重県一の水揚げ量を誇り、たいへん魅力があります。

当市の卸売市場の活性化にもつながるものと考えていますので、今後関係者の意向を踏まえながら検討していきます。



東近江市民クラブ
恵み多き愛知川を安心な川に



Q 一級河川愛知川は我々に大きな恵みを与えてくれているが、堤防決壊も起きている。上流の永源寺ダムに治水機能は無いが、ゲート部高8.3mの空間には800万tの貯水ができ、洪水前にゲート下まで水位を下げれば、その半分の400万tを利用しても放流。ピーク量を毎秒300t減で連続4時間調整でき、水位を50cm下げられるのでは。

A 永源寺ダムは下流の安全を確保するため流入量より多く放流することはできない規定になっていますが、市の強い要請で、台風に備え9月からゲート下部まで水位が下げられています。

治水機能付加の改善や施設改修は課題が多く困難と承知していますが、研究について要望していきます。



湖岸に押し寄せる流木



東近江市民クラブ
安全・安心に走れるまちへ！



Q 市道等には舗装のひび割れ、わだち掘れ、センターラインの消失等の劣化が見られ、雨の日や夜間の走行に不安を感じる時がある。道路の陥没等による物損事故等も発生しており、長年の課題となっているが、現状を踏まえた今後の対応は。

A 大型車の交通量の増加や舗装の経年劣化等から、道路の維持管理費が年々増大し、十分な対応とは言えない状況です。

限られた財源の中で、舗装の延命化を目指した計画的な修繕を実施し、コストの縮減と予算の平準化を図るとともに、交付金等の確保を国・県に要望します。

舗装修繕計画は、59路線89kmの主要幹線市道等で実施した路面性状調査に基づくものであり、計画期間は25年度から9年間で48路線15.9km、総事業費約6億円で進めるものです。



センターラインが消え損傷が目立つ市道

Q 橋梁長寿命化修繕計画に基づく今後の修繕予定は。また、雪野山トンネルの今後の維持管理は。

A 今町地先の奥野1号橋と福堂町地先の栗見橋の修繕を予定しています。

雪野山トンネルについては、27年度の定期点検に基づき、蒲生野歴史街道運営協議会として31年度の修繕完了を目的に取り組みたいと考えています。



東近江市民クラブ
道の駅改修後の農業振興策は



Q 改修後のあいとうマーガレットステーションを拠点とした農業振興策について、

①増加が見込まれる来店客の市内各地への取り込み策は。

②農業後継者の支援策の拡充やその準備は。

③農産物のブランド化とその構想は。

A ①今回の改修工事でピザ釜等が設置され、個人やグループでの観光客の増加が期待されるので、それらの皆さまにも市内を周遊していただけるような取り組みが必要だと考えます。

具体的には、市内周遊モデルコースや体験型観光、イベント情報等を積極的に発信し、市内への人の流れを創出していきたくと考えています。

②プライマリーCo.の取り組みにより、地域内中規模流通の仕組みを実現させ、農家の安定的な収入を確保することで就農者の増加を目指していきます。

また、当市の農業の魅力さを



3月中旬リニューアルオープン！